

循環注水冷却スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定		10月			11月			12月			1月	2月	備考			
			25	1	8	15	22	29	6	13	下	上	中	下	期		後		
循環注水冷却	原子炉関連	循環注水冷却 (実績) ・【共通】循環注水冷却中(継続)	<p>【1, 2, 3号】循環注水冷却 (滞留水の再利用)</p> <p>原子炉・格納容器内の崩壊熱評価、温度、水素濃度に応じて、また、作業等に必要な条件に合わせて、原子炉注水流量の調整を実施</p>																
		現場作業	<p>略語の意味 CS：炉心スプレイ系 FDW：給水系 CST：復水貯蔵タンク RPV：原子炉圧力容器 PCV：原子炉格納容器 TIP：移動式炉心内計測装置 JP SL：ジェットポンプ計装配管</p>																
		検討・設計・現場作業	<p>【設置工事等】 配管、電気品等設置 (実施計画変更認可に先駆けて対応可能な工事)</p> <p>設置工事は既設設備に影響を及ぼさない範囲で搬入・据付を開始。 また、既設設備改造が伴う工事については実施計画変更認可後実施。</p> <p>実施時期調整中 既設設備改造が伴う工事等</p>																
		海水腐食及び塩分除去対策 (実績) ・CST窒素注入による注水溶存酸素低減(継続) ・ヒドラジン注入中(2013/8/29~)	<p>CST窒素注入による注水溶存酸素低減</p> <p>ヒドラジン注入中</p>																
		窒素充填 (実績) ・【1号】サブレーションチャンバへの窒素封入 - 連続窒素封入へ移行(2013/9/9~)(継続) (予定) ・【共通】非常用窒素ガス分離装置本格点検 2015/11/24~12/21	<p>【1, 2, 3号】原子炉格納容器 窒素封入中</p> <p>【1, 2, 3号】原子炉圧力容器 窒素封入中</p> <p>【1号】サブレーションチャンバへの窒素封入</p> <p>追加 【共通】非常用窒素ガス分離装置本格点検</p>																
		現場作業	<p>1号機ジェットポンプ計装ラックからの窒素封入ライン追加に伴う実施計画変更認可申請(2015/1/16)</p>																
		検討・設計・現場作業																	



# 3号機 PCV※常設監視計器の 設置について

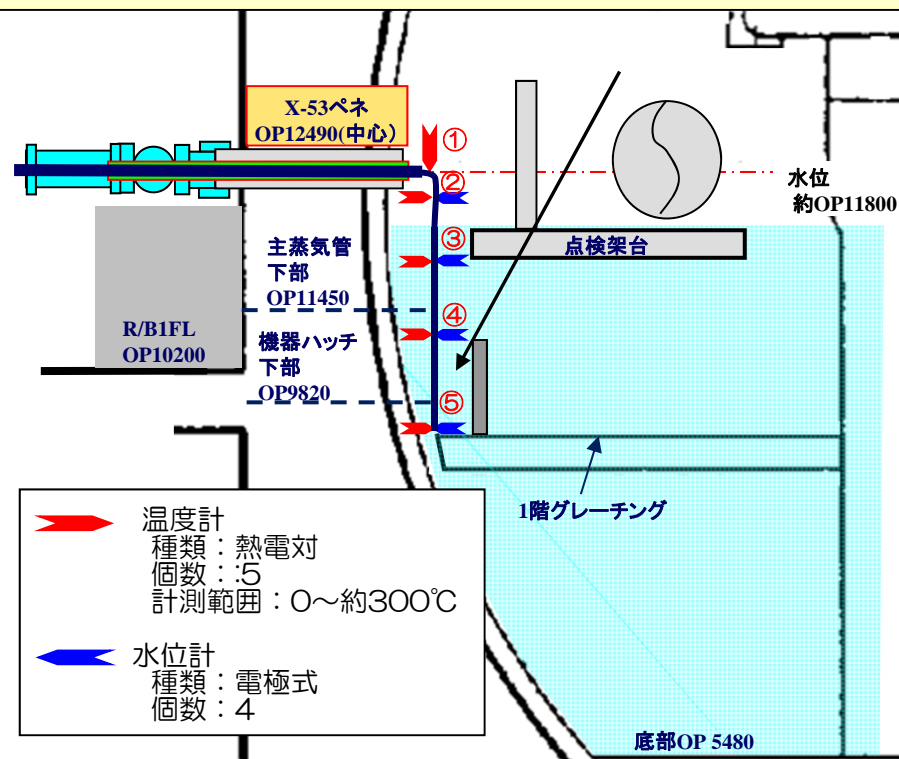
2015年11月26日

東京電力株式会社

# 1. PCV内 常設監視計器（温度計・水位計）設置の概要

- X-53ペネより、PCV内へ常設監視計器（温度計・水位計）を挿入・設置する。

計器番号	設置計器		設置計画位置 (OP)	設置位置の根拠
	温度	水位		
①	○	—	12,400	・ 気相部の温度測定
②	○	○	12,150	・ 既設温度計と同等の高さの温度測定 ・ 現在の推定水位付近の監視
③	○	○	11,500	・ 現在の推定水位付近の監視
④	○	○	10,700	・ 既設温度計と同等の高さの温度測定
⑤	○	○	9,700	・ 設置可能な最下端部



➡ 温度計  
 種類：熱電対  
 個数：5  
 計測範囲：0～約300℃  
➡ 水位計  
 種類：電極式  
 個数：4

監視計器設置位置イメージ

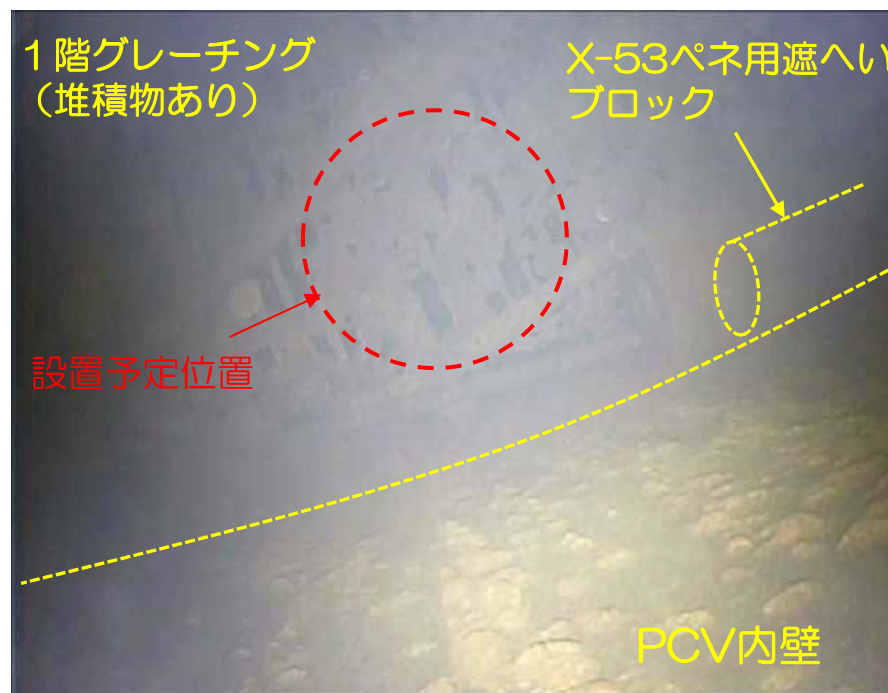
- 今回の新設温度計（5個）のうち2個（②、④予定）を、原子炉の冷却状態を監視する監視温度計として選定する予定。これにより、格納容器内の監視の信頼性が向上する。（格納容器の既設の監視計器（温度計）として、現在10個を使用中。）

## 2. 干渉物の確認状況

- PCV内部調査時に、常設監視計器の設置に支障となる干渉物はないことを確認。(2015年10月20・22日)

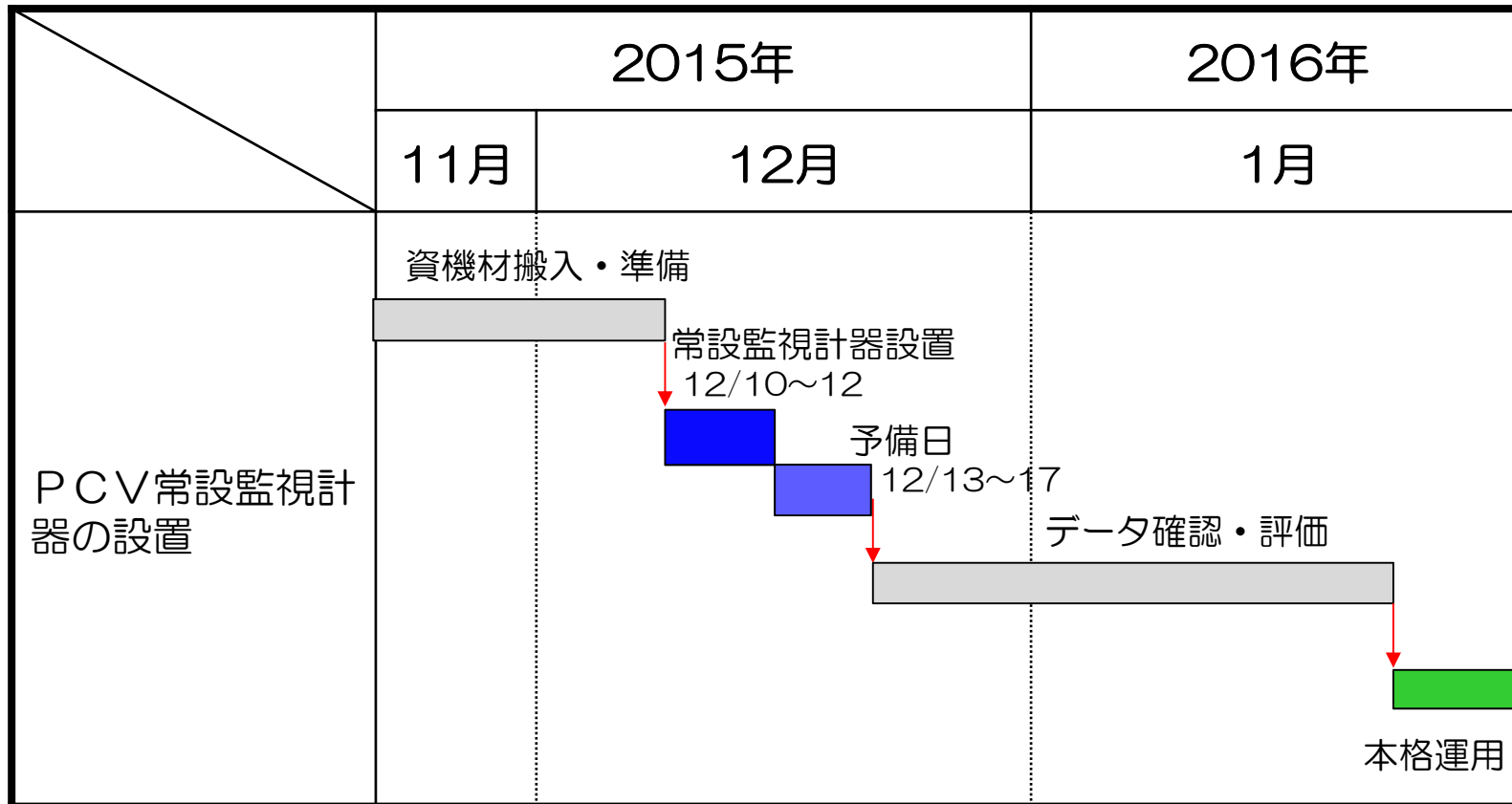


水面・点検架台周辺  
(X-53ペネ下側近傍)



1階グレーチング周辺  
(グレーチング上面に堆積物がある)

### 3. 工程



計器設置後、1ヶ月程度を目安に、データの確認・評価※を行い、問題がなければ、監視計器（温度計）として運用を開始する予定。

※：既設のPCV内温度計指示値との相関、炉注水流量の変更や外気温変動等の変化に応じた挙動